

決議事項要約
国際理事会会議
オンライン会議
米国イリノイ州オークブルック
2021年4月12～21日

監査委員会

- 委員会は、ライオンズクラブ国際協会内部監査より、完了した監査プロジェクトの範囲、全体的な監査評価、監査の対象事項を含む最新報告を受けた。対象事項のフォローアップは、内部監査プロセスの一環として行われることになる。
- 委員会はエンタープライズ・リスク・マネジメントの概要を把握し、組織的なリスク管理フレームワーク導入における初期のステップとアプローチについて理解した。
- 委員会は、LCIF 交付金コンプライアンス課より、LCIF 交付金コンプライアンス・プロセスの概説と、交付金コンプライアンスの優先事項に関する最新報告を受けた。

会則及び付則委員会

- 任務を履行しなかったこと、かつ国際会則及び付則、並びに国際理事会方針を順守しなかったことを理由に、300-C3 地区 (300 複合地区 台湾) の Cheng-Yu Lu 地区ガバナーを解任。Changhua Yuan Ching ライオンズクラブに対し、ライオンとしてあるまじき行動をとった Cheng-Yu Lu を除名するよう指示。また、Cheng-Yu Lu は、国際協会はもとより、いかなるクラブまたは地区からも、今後ライオンズの会員としても元地区ガバナーとしても認められないものとし、将来的にもライオンズの会員になる資格を一切持たないものと宣言。Hsueh Chu Hsu 前地区ガバナーを、今年度の残る期間の地区ガバナーの空席を補充する地区ガバナーに任命。
- Banska Bystrica ライオンズクラブに対し、ライオンとしてあるまじき行動をした Pavol Mora を除名するよう指示し、また、Heart of Slovakia ライオンズクラブに対し、ライオンとしてあるまじき行動をした Bohumir Kratky を除名するよう指示。また、Pavol Mora と Bohumir Kratky は、国際協会はもとより、いかなるクラブまたは地区からも、今後ライオンズの会員として認められないものとし、将来的にもライオンズの会員になる資格を一切持たないものと宣言。

- 地区未編成地域のキプロスのクラブをめぐる問題についてその背景を確認し最新報告を受けた上で、法律部スタッフに対し、引き続き状況を監視し、理事会方針が順守されるようにするため適切なコミュニケーションを提供するよう要請。
- 元会員の Nebojsa Davidovski は、将来ライオンズの会員になる資格を一切持たず、かつ将来ライオンズの会員として一切認められないことを宣言。
- 理事会方針書第 6 章 B 項 1 を改訂し、不正確な言及を訂正。
- 理事会方針書第 18 章 H 項 1 を改訂し、不必要な文言を削除。
- 2021 年国際大会に報告するために、国際会則第 5 条第 4 項 (a) を改正することにより、国際大会が開催できない場合には、国際理事会に、執行役員および国際理事選出のための代替手段を承認する権限を与える決議案を起草。
- 2021 年国際大会に報告するために、国際付則第 9 条第 6 項 (c) を改正することにより、第二副地区ガバナーの資格要件を変更して、地区ガバナーを過去に務めたライオンは第二副地区ガバナーとして選出される対象とはならないようにする決議案を起草。

大会委員会

- バーチャル 2021 年国際大会の計画を確認して承認。
- 2022 年国際大会の登録料を設定。
- パンデミックが続いている状況下、デリーを 2022 年国際大会の開催地とすることの実行可能性を引き続き審議。

地区及びクラブ・サービス委員会

- クラブ優秀賞と地区優秀賞の受賞要件の変更を承認。
- 300-C3 地区を 300D-3 地区と 300D-5 地区に再編成して、300D 複合地区を形成するという地区再編成の発効日を、2023 年国際大会終了時から 2021 年国際大会終了時に変更することを承認。
- 324 複合地区内の地区名の変更を承認。
- 2021～2022 年度のコーディネーター・ライオンを務めるライオンリーダーを任命。
- 元地区ガバナーは第二副地区ガバナー職に選出される対象、もしくは第一または第二副地区ガバナーの空席を補充する対象とはならないようにするための会則改正案を 2021 年国際大会において代議員に提出するよう要請。代議員により承認された場合、この変更は 2022 年 7 月 1 日に発効する。

- レオまたはレオリオンが地区キャビネットもしくは協議会におけるアドバイザーを務めるためのポジションを設けることを、標準版地区および複合地区付則に任意の規定として含めることを承認。

財務及び本部運営委員会

- 黒字となる 2020～2021 年度第 3 四半期収支予想を承認。
- Import Export Compliance (IEC - 輸出入規制コンプライアンス) に関する理事会決議を承認することにより、ISAME 事務局長のグロリア・ギリが、インドにおいてライオンズクラブ国際協会を代表し署名者を務めることを承認。
- 世界的なパンデミックのインパクト、そしてそれが世界中のライオンズに与えた影響、また、協会の経費削減と投資収益好転の結果による黒字により、財務及び本部運営委員会は国際会費増額に対する投票を 2022 年 6 月に延期し、増額発効は 2023 年 7 月、2024 年 7 月、2025 年 7 月とすることを推奨。

リーダーシップ開発委員会

- 2021 年 4 月 19 日から 6 月 6 日までの週に開催されるバーチャル 2021 年第一副地区ガバナー/地区ガバナーエレクト (FVDG/DGE) セミナー 1～3 日目と、2021 年 6 月 25 日に開催されるセミナー 4 日目に向けた最終的な準備を確認。
- 2021～2022 年度に向けて提案されたリーダーシップ研究会スケジュールを承認。
- 11 複合地区 (米国ミシガン州) がもう一年そのパイロットを継続し GAT コーディネーターへのそのサポートと説明責任プロセスを微調整することを奨励。

長期計画委員会 (2021 年 1 月会議の報告)

- 国際協会の戦略計画の進捗状況を確認し、意見等を出した。また、LCI プロジェクトチーム委員長のジョイス・ミドルトン元理事、プロジェクトチームのメンバー全員、そしてスタッフの尽力に感謝の意を表した。
- 地区指導者の役割と責任に対し推奨された改善点を確認・同意した。改善に向けたこれらの変更は、明確さと戦略的重点を与え、計画策定、チームづくり、目標達成、年度から年度への継続性を強調することを目的とするもの。
- ダグラス X. アレキサンダー第一副会長から、2021～2022 年度のテーマとメッセージについてプレゼンテーションを受け、国際会長としての年が大きな成功を収めるものとなるよう祈念した。

マーケティング・コミュニケーション委員会

- 部の 2021～2022 年度予算予想を確認。
- 更新された PR 交付金プログラムプロフィールと申請に関する更新を確認した上で承認。
- クラブのマーケティング活動を奨励し、その成果を表彰することを目的としたマーケティングアワードを確認。この新しい賞への資金供給を進めるかどうかの決定は、今後の会議で検討されることになる。
- 2022 年ローズ・パレードのスポンサーシップの計画を確認し資金提供を承認。
- ソーシャルメディア、ウェブサイトの強化、グローバル広告キャンペーン、広報プログラム、PSA パイロット、ビデオセンターなど、ブランドおよび知名度向上プログラムに関する最新情報を確認。
- プロトコルの改訂案を確認。委員会は、検討とフィードバックを求めべく本件を長期計画委員会に付託。
- ネパール語をライオンズクラブ国際協会の公式言語として加えるための計画を確認。理事会方針書第 20 章 J 項 1 に記載されている言語の列記部分を変更して、ライオンズクラブ国際協会の公式言語として「ネパール語」を含めることを承認。
- LCIF 人道支援大賞受賞候補者の審査における LCIF 理事会の役割を明確にするため理事会方針書第 19 章のアワードの表を変更。

会員増強委員会

- 退役軍人向けパイロット・プログラムを、2021 年 6 月 30 日のパイロット終了日をもって打ち切りとした。
- 世界中での会員増強を推進するため「グローバル・メンバーシップ・アプローチ」を承認。
- 「力を合わせよう (Join Together) 」を新しいプログラムとして承認。
- 会則地域 1 に配分されていた会員増強補助金のうち 5,000 ドルを会則地域 7 に移すことにより、補助金を再配分。
- レオライオン理事会リエゾンが複数のレオフォーラムに出席できるようにするため、理事会方針書第 3 章の文言を更新。
- レオライオン理事会リエゾンのための旅行予算を設けるため、理事会方針書第 21 章の文言を更新。

奉仕事業委員会

- 奉仕の受益者数、奉仕アクティビティの数、奉仕を報告しているクラブの割合等、アクティビティ報告に関する報告を受けた。
- 国連ライオンズ・デー、ライオンズ・キャピトル・ヒル・デー（今年はいずれもバーチャルで開催）を含む、アドボカシーイベントに関する最新報告を受けた。
- 国連プログラムへのライオンズ代表強化について審議した。
- 協会と糖尿病治療・教育専門家協会とのパートナーシップに関する最新報告を受けた。
- すべての奉仕関連プログラムに関する最新報告を受け、ユースキャンプ及び交換委員長から寄せられた意見を検討した。
- 「思いやりは大切なこと」奉仕アワードを充実したものにするについて話し合った。

テクノロジー委員会

- 委員会は、来るバーチャル大会のサポートの状況について最新報告を受けた。委員会は次のステップを確認し、スタッフに進捗状況の最新情報を頻繁に提供するよう要求した。
- 委員会はまた、バーチャル選挙の計画の状況について報告を受けた。委員会は、電子投票システムをテストしてスムーズに利用できることを確認し、国際選挙での使用を承認した。
- 委員会は、国際ライオンズ戦略計画の草案を確認し、その包括性と詳細さに満足した。さらに、委員会は、戦略計画がテクノロジー部に与える影響と計画された優先順位について具体的に話し合った。今後の追加要求に関する報告を待つ。
- 委員会は、プロダクトのイニシアチブについて包括的な議論を行った。委員会は、デジタルプロダクトの採用を改善する必要性について話し合い、プロダクトに対するメンバーの認知を高める方法を特定するために、マーケティングおよびグローバル・アクション・チーム（GAT）のスタッフとの協力を継続するようスタッフに指示した。
- 委員会は、奉仕アクティビティ報告のデータに関する奉仕事業委員会からの最新情報を確認した。委員会は、アクティビティに基づく動的指標を含む奉仕データの改善方法について話し合うため、次回理事会会議での奉仕事業委員会との合同会議を要請した。
- 委員会は、プライバシー保護の取り組みと、一般データ保護規則（GDPR）に関連して講じられている継続的な措置について最新報告を受けた。委員会は、今後3～6カ月間に計画されているセキュリティとプライバシーの取り組みを承認する。
- 委員会は、テクノロジー部の2020～2021年度第3四半期予算収支予想と2021～2022年度予算案を確認した。委員会は、2019年の実績と2021～2022年度の予算の間にマイ

ナスの差異があることを指摘したが、差異が生じた要因についてスタッフから提供された説明に満足した。

- 委員会は、E コマースとクラブ用品の 2021～2022 年度予算を確認した。予算には、2019 年の実績と比較してプラスの差異があった。これは、本部割当経費に加えられた調整に起因するもの。委員会は、現在第 4 四半期に計画されている日本向けの新しい e コマースストアフロントの立ち上げ計画に同意した。